

令和5年度 第11回 昭島市社会教育委員会議・要点録

開催日時／会場 令和6年2月22日(木) 午後7時00分～8時分 204会議室
出席者 谷部議長、松本副議長、小原委員、前川委員、指田委員、小池委員、齋藤委員、信國委員、石川委員
欠席者 二ノ宮リム委員、
事務局 渡邊社会教育係長、中本主任

1 開 会

<配付資料>

- 資料1 令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2回理事会資料(抜粋)
- 資料2 令和5年度昭島市社会教育委員会議視察研修報告
- 資料3 昭島市健康づくり推進協議会委員の推薦について(依頼)
- 資料4 第32期活動記録検討資料

- ・ 昭島市月間行事予定表 令和6年3月

2 報 告

(1) 令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2回理事会について(資料1)

※ 事務局、議長より資料の説明

(2) 令和5年度社会教育委員視察研修(自主研修)について(資料2)

※ 事務局より資料の説明

議長 参加した委員より感想などがあればお話しいただきたい。

委員 昭島市と比較すると小田原市は面積も広く、農業、林業、観光などの産業もあり、面積も広く、人口、世帯数も多い。公民館とは別にUMECOのような施設があることは、自由に使えること、午前や夜間などの区分制ではなく、1時間単位で利用できることなどから使い勝手が良いのではないかと感じた。

委員 UMECOは駅前の一等地にあり、主要な施設は1階にあり、2階以上は駐車場となっている。その駐車場の収入がUMECOの運営に充てられているのだろうと感じた。今年、指定管理者の選定の年であったが、他の民間企業からは応募がなく継続となった。民間の参加はなかなか厳しいようである。また、年配の方の労働力を活用しないと難しいようである。

委員 イベントスペースについて、昭島は不特定多数の方を迎えるイベントスペースがあまりなく、事業を実施しようとするときにそこで行き詰まることがあるが、UMECOは入場料が1,000円を超えたら利用料が2倍になるなどの条件がある中で、企業も利用できる場所があるのは良いと思った。昭島でも新たに設置される市民総合交流拠点施設がそのように利用できれば良いと思った。

小田原市の社会教育委員さんとの懇談の中では、昭島市の社会教育委員は活発に活動

をしているということを実感した。

委員 UMECOについては、元々市民活動をされていた方々が運営をしており、アキシマエンスとは違うと感じた。1時間ごとに使えるのは、多くの人ができるので管理は大変そうだが、手軽に使うことができる。

アキシマエンスはイベントの入場料がいくらだったら有料になるのかははっきりしていない。急に施設の利用料を徴収されることがあると聞いたことがある。そういう面では入場料が1,000円を超えたら使用料が2倍になることや、営利団体も一般の人も同じように使えるのはわかりやすい。絵の教室が使おうとすると、それほど利益があるわけではないが営利団体になってしまう。大きな企業と、個人事業主とは違うような気がするが、使えないと言われてしまう。UMECOの場合はそういったことは関係なく使える。昭島もこれからはそうなってほしいと思った。

また、社会教育委員会議については、昭島は開催回数や内容について頑張っていると思った。

国際交流について、外国人が自分たちのグループを作って活動しており、開かれた感じの雰囲気があった。昭島でもそういう活動ができるとよいと思った。

議長 小田原市は課長が社会教育主事だが、社会教育主事の資格を得るための受講費用について、公費で補助をしている。昭島市も社会教育主事の補充をしていただきたい。

UMECOは1時間単位で予約ができることは無駄なく利用できて使い勝手が良いと感じた。

また、第32期の活動記録の自主研修部分について、後ほど検討したい。

3 議題

(1) 昭島市健康づくり推進協議会委員の推薦について(資料3)

※ 事務局より資料の説明

議長 どなたか健康づくり推進協議会委員に立候補する方はいらっしゃるか。

委員 お引き受けすることは可能である。

議長 引き続き信國委員にお願いしたい。いかがか。

<委員了承>

議長 それでは健康づくり推進協議会委員は引き続き信國委員にお願いする。

4 協議

(1) 第32期活動記録について(資料4)

議長 前回、「はじめに」と第1章についてご意見があれば事務局にお知らせいただくようお願いしたが、特にご意見はなかったようである。わたしが口頭でお伺いした意見と事務局からの意見を踏まえ赤字の部分を修正した。この修正について意見があれば事務局に連絡をされたい。

第5章についてまとめたのでご意見を伺いたい。※議長朗読

ご意見はあるか。

委員 字下げなどの体裁を整えられたい。また、小田原市の社会教育委員の構成で、男女の

人数の記載があるが、男女で分けて、全体の人数とするのが今の流れではないか。

事務局 委員会などの委員は、男性の比率が多かったが、小田原市の社会教育委員は男女比が同じであるため小田原市が資料の中に記載したものと思われる。

委員 以前までは男性が多かったが、今期の委員は男女同数になったそうである。

議長 小田原市としては、女性の比率が上がったことを伝えたかったのだと思う。

じっくり後日改めて読んでいただいて他に何か気付いたことがありましたら、事務局に連絡を願いたい。

(2) その他

・市民のニーズを活かす・つなげる あきしま会議について

議長 第4章、あきしま会議の目次のところに「第9回があれば追加」と記載したが、第9回目のあきしま会議の開催についてご意見を伺いたい。ここ2年は6月に開催している。1年に1回は開催したい。

委員 若者の参加を促したい場合は学校があると難しいので夏休みに入ってからが良いか。

議長 8月の開催となると、9月には活動報告を提出したいので、出来れば活動報告は8月末には完成させておきたい。また、最終的な体裁については事務局にお願いします。

委員 あきしま会議については、方向性がわからないと日にちも決まらないのではないか。

議長 第8回目はテーマを2つに分けるという新しい試みであった。第7回時にはプロジェクトチームを立ち上げたらどうか。という案が出た。中々それを具体化することは難しく、どのように次のステップに進めるか、いい案が浮かばないところである。

委員 また、来年度も国内交流事業は実施されると思うが、前回のあきしま会議の若者のグループの中で、「岩泉町と交流したい」という意見もあった。

議長 参加者同士で未だに家族ぐるみでつながっている人もいと聞いた。

委員 最近は松原町高齢者福祉センターやアキシマエンシスに宿泊するなどホームステイではなくなっている。岩泉町での宿泊も同様である。

委員 ホームステイをしていないので、市民同士の深いつながりが保てないようである。

議長 以前はホームステイをしていたが、昭島市、岩泉町双方で受け入れ態勢が図れなくなっている。

委員 昭島ではくじら祭りに参加している。

議長 前回のフォローアップミーティングで、若者が自分たちで何かをしたいということで話をしていたが、その後、どうなっているのか。

委員 進んではないようである。

委員 あきしま会議は、年1回の開催か。

議長 年に2回開催したこともあるが、1回のことの方が多い。第7回目でプロジェクトチーム発足の提案があるまでは、それぞれの活動団体の課題を発表し、その中で解決策を探るなど、情報交換を行っていた。参加した方たちの発言を聞いていると、参加して良かったという意見がほとんどであった。

情報交換だけではなく、課題をどのように解決していくのか具体化するべきということが第7回の際にいただいた意見であると考えた。それを受け、第8回目を開催し

たが、それを一歩進めていこうとなると、市から予算が出るのか、それをやるためにはどうしたらいいか、また、それをやるのが良いのかどうか、話が進んでいない。社会教育委員の活動としてどうなのかなど、進めていくには検討が必要である。

委員 コロナもあったので、また、以前のシンプルなあきしま会議を開催してみてもいいか。団体のメンバーも変わっている。

委員 団体の皆さんに、あきしま会議で課題等を話し合い、その後どうなったのか、聴いてみたい。

議長 その後活動が広がったという参加団体の話を聞いた。一方で、活動が上手く広がらない団体もあるかと思う。そういった団体から話を聞き、発表していただいてもいいかと思う。

委員 社会教育委員がファシリテーションの勉強をしてもいいかと思う。

委員 次のステップに行くのか、原点に戻るのか、考えていきたいが、原点である課題の発表や情報交換はなくしてはいけないと思う。バランスを考えることが必要。

事務局 あきしま会議を開催する場合、広報での告知が必要となり、2ヶ月以上前が広報原稿の締め切り日となる。そのことをお含みおきいただき日程の検討を願いたい。

本日はこれにて閉会とする。

次回 3月28日(木) 午後7時より 204会議室+Web会議

4月25日(木) 午後7時より 庁議室+Web会議